

日本セーフティプロモーション学会誌 執筆要綱

1. 投稿様式

- 1) 論文はMS Wordを用いて作成する。使用フォントは原則として日本語はMS明朝体、英語はTimes New Romanとし、文字サイズは12ポイントとする。用紙はA4サイズとし、1枚あたり38字×36行(1,368字)を目安とする。余白は標準設定とし、横書きで作成する。本文にはページ番号をフッター中央に配置すること。
- 2) 査読を容易にするため、MS Wordの「行番号」機能を用いて、原稿全体の左余白に連続した行番号を付す。
- 3) 英文論文は、フォントをTimes New Roman 12ポイント、行間はダブルスペース、文字は左揃えとし、各段落の先頭は約1cmの字下げを行う。その他の記載方法は日本語論文に準じる。投稿前に、英語に十分精通した専門家による校正を受けること。
- 4) 文章は新仮名づかいとし、ひら仮名を使用する。句点やカッコなどの記号は1字として数える。外来語は原則カタカナで表記する。人名や地名など、日本語で表記しにくい場合は原綴を用いてもよい。
- 5) 算用数字は、1桁の場合は全角、2桁以上および英字は半角を用いる。

2. 論述の形式

1) 著作権移譲承諾書 Copyright Transfer Agreement

全著者が自署した著作権移譲承諾書を1枚スキャンしてPDF化し、表紙の前に添付する。

2) 表紙 Title Page

表題、所属、著者名を和文および英文で記載すること。次に、連絡著者の氏名、郵送先住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを明記すること。また、希望する原稿の種類および別刷りの希望部数を記載する。

3) 要約 Abstract

- (1) 要約には、序論、方法、結果、考察、結論を、簡潔に記載すること。
- (2) 日本語抄録は600字以内とし、原著論文には400語以内の英文抄録も付すこと。
- (3) 原著論文の英文抄録は、和文抄録が査読により修正される場合があるため、採択決定後に作成してもよい。
- (4) 英文論文には、文献の後に、日本語による表題、著者名、所属、抄録を記載した和文抄録を付すこと。
- (5) 抄録の末尾には、キーワードを5語以内で付記し、和文および英文の双方で記載すること。

4) 序論 Introduction

研究の背景および研究課題の重要性を明らかにするとともに、投稿論文の位置づけを整理する。さらに、当該領域における類似テーマの先行研究との比較を通じて本研究の独自性を示し、研究テーマへの取り組み内容について説明する。

5) 方法 Method

- (1) 研究デザイン：研究手法、定量的研究または定性的研究などのアプローチ、およびその論理的根拠。
- (2) 対象（者）：サンプリング方法、サンプルサイズ、対象者の属性や選定条件など。
- (3) データ収集：収集の手続きおよび手順、使用した測定機器やツールなど。
- (4) 分析方法：データの処理方法、分析手法、使用した統計ソフトウェアの名称およびバージョン。
- (5) 倫理的配慮：研究における倫理的配慮についての記載。

6) 結果 Results

- (1) 客観的かつ簡潔に結果を記述する。
- (2) 図・表・写真を適切に用い、それぞれの要点を簡潔に示す。
- (3) 内容は論理的な順序で構成する。

- (4) 記述は過去形で統一する。
- (5) 結果と考察は明確に分け、結果には考察を記述しない。
- (6) 結果では原則として文献の引用を行わない。

7) 考察 Discussion

- (1) 自らの研究結果について考察する。
- (2) 先行研究と本研究の結果を比較し、そこから導かれる解釈について考察する。
- (3) 先行研究と異なる結果が得られた背景や要因について考察する。
- (4) 本研究の結果から明らかになった新たな課題について考察する。

8) 結論 Conclusion

- (1) 研究で得られた客観的事実を簡潔に記載する。
- (2) 末尾に利益相反 (COI) の有無と有の場合その内容について記載する。
- (3) 末尾に助成金等の有無について記載する。

9) 引用文献 References

- (1) 文献番号は本文での引用順に、¹⁾, ^{1,2)}, ¹⁻³⁾ のように上付きの番号で示す。
- (2) 文献の記載方法は下記の通りとする。著者が3名を越える場合、4名以降は「他、(et al.)」と表記する。

雑誌の場合：著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 巻 (号), 開始ページ-終了ページ.

【例】 衛藤 隆. Safety Promotionの概念とその地域展開. 東京大学大学院教育学研究科紀要. 2006, 4 : 331-337.

単行本の場合：著者名. 表題. 書名. 編著者. 出版社, 出版年, 開始ページ-終了ページ.

【例】 今井博之. Injury preventionとは？基本的な考え方. セーフティプロモーションー安全・安心を創る科学と実践. 日本セーフティプロモーション学会編. 晃洋書房, 2019, 8-17.

インターネットの場合：著者. 表題. URL (閲覧年月日). URLの下線は削除し、文字色が青色の場合は黒色に変更する。

【例】 交通事故総合分析センター. 交通事故死者日報. <https://www.itarda.or.jp/report> (2021年4月1日閲覧)

3. 図・表・写真 Figures, Table and Photograph

- (1) 引用文献の後に別ページを設け、1ページにつき1点を掲載する。図1、図2、表1、表2、写真1、写真2のように通し番号を付す。説明文 (キャプション) は、図および写真は下部に、表は上部に記載する。
- (2) 本文中には、図・表・写真の挿入箇所を明示すること。なお、実際の配置は論文全体のバランスを考慮して決定するため、必ずしも指定どおりの位置に配置されない場合がある。
- (3) 図・表・写真は、そのまま掲載可能なように鮮明なものを提出すること。
- (4) 図・表・写真を引用する場合は、出典を必ず明記すること。

参考：法務省ウェブサイトのコンテンツの利用について https://www.moj.go.jp/hisho06_00280.html

4. 留意点

- 1) 執筆要綱で求められている事項が遵守されているか、提出前に必ず確認すること。
- 2) 引用文献の記載方法、本文中での文献番号の示し方、本文への行番号の付与などが本学会の執筆要綱と異なる場合は、原稿を返却し再投稿とするため、十分留意すること。
- 3) 序論に記載した内容を考察で重複して述べないこと。また、結果の記述中に考察を含めないこと。結論は簡潔に記載すること。

5. 投稿手続き

原稿はE-mailに添付し、編集委員会へ送信する。

(2026年4月9日 理事会改正承認)